

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称：アジ化ナトリウム

製品名：フリーβHCGコントロール Free Beta HCG Control Module

製品コード：LFBCM

会社名：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

住所：〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14

電話番号：03-3537-3939

作成日：2009/06/15

改定番号：2.0

2. 危険有害性の要約

絵表示
又はシンボル



注意喚起語 危険

危険有害性情報 飲み込むと生命に危険（経口）
皮膚に接触すると生命に危険（経皮）
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
循環器系の障害
長期又は反復ばく露による循環器系、肝臓の障害

注意書き

安全対策 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

救急処置 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り

除くこと。
汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。
眼に入った場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名：

本品中、下表に記載された製品が本データシートの対象である。

成分名	製品番号
Free Beta-HCG Controls	LFBC1-3

成分の特定：

CAS 登録番号 /EINECS 登録番号	化学名 化学式	量	EU 分類 (67/548/EEC):
26628-22-8 / 247-852-1	アジ化ナトリウム NaN ₃	0.33%	N, T+, R28, R32, R50/53

EU 分類の追加情報はセクション 16 を参照

ヒト：飲み込むと有害 接触は刺激を引き起こすことがある。

環境：この製品は魚に毒性を示すアジ化ナトリウムを 0.33% 含んでいる。

(注記:この製品はヒト由来の物質を含んでおり、バイオハザードおよび/または使用地域で規制対象となる医療廃棄物と考えられることがある。地域の環境関連の規制を確認する。)

EU 分類 (1999/45/EC) : Xn - 有害

EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ : R22, R52/53, S28, S35

4. 応急措置

緊急応急処置：直ちに医師に電話する。最も近い ER（救急救命室）への移送を手配する。

医師を待つ間、または ER へ移送中：

吸入した場合：問題が起きた場合、患者を新鮮な空気のところへ移動する。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。呼吸が困難な場合、酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合：汚染したすべての衣服を直ちに脱ぐ。石鹼と十分な量の水で洗い落とす。症状があれば医療機関の手当てを求める。再使用前に汚染した衣服を洗う。

目に入った場合：直ちにまぶたの下も含め十分な水で、少なくとも 15 分間洗う。病院へ移送し眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：患者に意識のある場合、水で口を洗い、コップ 1、2 杯の水または牛乳を与え直ちに希釈する。直ちに医療機関の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：周囲の状況に適合した消火剤を使用する。

消火の際の特別処置：常時自給式呼吸器を着用することが最適である。

異常な火災および爆発危険：関連情報なし

6. 漏出時の措置

物質が流出したり、漏出した場合の処置：

耐薬品性のゴム手袋および実験用前掛けを着用する。

ほこりをたてないように掃き取りバイオハザード容器に入れる。

湿らせたペーパータオルで拭き取り、バイオハザード容器に廃棄する。10%の塩素系漂白剤で流出した場所を消毒する。

7. 取扱い及び保管上の注意

製品ラベル（添付文書）に記載の温度および条件で保管する。ダストを吸わない。

ヒト血清試料として取り扱う。皮膚、眼および衣服への接触を防ぐ。

休止前および製品の取り扱い終了直後に手を洗う。

8. 暴露防止及び保護措置

化学名

暴露限界値

アジ化ナトリウム

0.29 mg/m³ TLV-天井値

呼吸器の保護具：不要。部屋全体の換気を行う。

手の保護具：標準実験室用ケミカルラバーまたはラテックス手袋

目の保護具：標準実験用安全眼鏡を推奨する。実験室ではコンタクトレンズを使用しないほうがよい。

皮膚及び身体の保護具：実験着または前掛けを推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

外 観：灰色がかった白色粉末

p H：N/A

融点・凝固点：N/A

沸点、初留点及び沸騰範囲：N/A

引 火 点：なし

蒸 気 圧：N/A

比 重：N/A

溶 解 度：可溶

蒸 発 速 度：N/A

燃 焼 範 囲：LEL:適用外 UEL:適用外

N/A = 適用なし N/D = 測定されていない

10. 安定性及び反応性

安 全 性：安定

危険有害反応可能性：起きない。

避けるべき条件：関連情報なし

混 触 危 険 物 質：金属 (アルミニウム、水銀、銅、鉛、亜鉛) および酸との接触を避ける。

危険有害な分解生成物：アジ化ナトリウムは重金属と反応して爆発性のアジ化物を生成する可能性がある。酸と接触すると有毒ガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性：急性毒性値—アジ化ナトリウム: LD50 経口 ラット: 27 mg/kg; LD50 経皮 ウサギ: 20 mg/kg

皮膚腐食性・刺激性：軽度の刺激を引き起こすことがある。長期間、広範囲への皮膚接触により吸収され、摂取時と類似した全身的な症状が現れることがある。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：刺激を引き起こすことがある。

発 がん 性：発がん物質またはその疑いがあるとして記載されている成分はない。

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露：現在知られていない。

吸引性呼吸器有害性：ダストの吸入は呼吸器官の刺激を引き起こすことがあり、摂取の場合と類似の全身作用を引き起こすことがある。

暴露による健康状態の悪化：現在知られていない。

摂取：ヒト血清または他のヒト由来の物質を含む。

胃腸の刺激および他の有害作用を引き起こすことがある。

アジ化ナトリウムの摂取は、息切れ、むかつき、おう吐、不安、下痢、血圧の低下（低血圧症）および虚脱状態を引き起こすと報告されている。

動物に対してきわめて毒性が強いと評価されている。

12. 環境影響情報

生態毒性：この混合物の生態への影響は確認されていない。アジ化ナトリウムのミジンコの 15°C における LC50 は 4.2 mg/L/96 hr であり、ニジマスでは 13°C において 0.8-1.6 mg/L/96 hr, Wt 1.4 G と報告されている。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄のために推奨する方法：

1 次容器のタイプ：製品容器は遮光ガラスである。

廃棄物処理方法：廃棄施設において、都道府県や国の環境規制に従う適切な廃棄方法を決めなければならない。

14. 輸送上の注意

国連番号：1687

品名：アジ化ナトリウム

容器等級（該当する場合）：規制されていない。

ラベル：N/A

梱包指示（旅客航空機）：N/A

梱包指示（貨物航空機）：N/A

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法

労働安全衛生法〔名称等表示〕

労働安全衛生法〔名称等表示〕

毒物及び劇物取締法

消防法〔危険物〕

船舶安全法

該当せず

名称等を通知すべき有害物：該当せず

表示：該当せず

毒物

危険物第5類

毒物類・毒物

航空法

毒物類・毒物





SARA 311/312:SARA の危険有害性区分セクション 311/312 報告：急性健康
 カリフォルニア州プロポジション65: この製品はカリフォルニア州で生殖毒性(出生異常) を引き起こすとして知られている下記の物質を含んでいる：
 アミノグリコシド -硫酸ゲンタマイシン0.008%
 カナダ WHMIS 分類：医療機器は WHMIS から免除されている。
 EU 分類 (1999/45/EC) :



EU のリスクフレーズおよび安全フレーズ：

- R22 - 飲み込むと有害
- R52/53 - 水生生物に有害であり、水生環境に長期の有害影響を与えることがある。
- S28 - 皮膚に接触した場合、十分な水で直ちに洗う。
- S35 - この物質およびその容器の廃棄は安全な方法で行わなければならない。

16. その他の情報

HMIS の危険有害等級		4 極めて危険。a3 非常に危険。a2 中等度危険。a1 軽度危険。a0 最低度危険。*アスタリスクは重大かつ慢性的な健康への影響を示す
	<U.20581><U.24247>:	1
	<U.28779><U.28797>:	0
	<U.21453><U.24540><U.24615>:	0
	<U.20491><U.20154><U.20445><U.29833>:	C

参考のためのリスクフレーズ(セクション 2 および 3 参照)：

- N - 環境にとって危険、T+ - きわめて有毒
- R28 - 飲み込むきわめと有毒
- R32 - 酸と接触すると毒性の強いガスを発生する。
- R50/53 - 水生生物にきわめて有毒であり、水生環境に長期の影響を与えることがある。

警告 - 危険有害物質の可能性

ヒトの血液、血漿または血清から製造されるすべての製品は危険有害物質として優良試験所基準に従い注意深く取り扱わなければならない。

この製品の調製に使用されたドナーユニットはそれぞれ米国 FDA の認可方法により、HIV

抗体および B 型肝炎表面抗原の有無が検査され、陰性（繰り返し陽性ではない）であることが判明している。ヒトT-細胞白血病ウイルスIII型（HIV）、B 型肝炎ウイルスまたは他の感染因子の不在を完全に保証する検査方法はないので、この製品は、米国NIH/ 疾病管理センター の1984 年のマニュアルである「微生物／生物医学実験室の生体安全性（Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories）」で、感染の危険のあるすべてのヒト血清および血液検体に対して勧告されている Biosafety Level 2 に従い取り扱う必要がある。アジ化ナトリウムを含む試薬が多量に下水管に廃棄された場合、蓄積し、銅または鉛と金属アジドを形成することがある。これにより爆発の危険が生じる可能性がある。製品詳細情報または「安全管理 No. CDC-22（米国疾病管理センター）アジド塩除去のための実験室排水管の除染」を参照。

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。